

校訓 自主自律

学ぶ意欲
思いやる心
行動する力

学校教育目標

気づき 考え 実行する
心豊かな生徒

大地のけやき

第3号 令和元年5月22日 川越市立寺尾中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の寺尾中三カ年教育

避難訓練・引き渡し訓練

本校は、今年度「防災教育の研究」に取り組んでいます。生徒が、自らの命を守りぬくために「主体的に行動する態度」を身に付け、地域、社会の中で確実に力を発揮することができることを目的としています。

4月27日（土）の引き渡し訓練には、多くの保護者の皆さまにご協力いただき、無事に訓練が実施できました。事前に引き取り者の確認をしたところ、95%のご家庭でご来校いただくこととなりました。本当にありがとうございました。今回の訓練では、①地震発生の際に身を守るための「安全姿勢」をとる訓練、②生徒の安否確認を行い、情報を集約する訓練、その後、③保護者の皆さまにご協力いただいた引き渡し訓練を行いました。今後も防災教育を進める中で「生徒が生き生きと活動し、地域に愛され信頼され期待される学校」を目指し、生徒に多くの力を身に付けてほしいと願っています。



緊急地震速報とともに机の下にもぐり、机の脚の上部を対角線に持って支える(さるのポーズ)ことで身を守ります。机がない場合は、手で後頭部を保護し(だんごむしのポーズ)ひじ、ひざ、足の甲を床につけて体を安定させます。



今年度、慶應義塾大学准教授からご指導いただき、防災教育を進めています。

規模の大きい地震の際に起きることは共通しています。「落ちてくる」「倒れてくる」「移動してくる」の3つです。地震の後の火災や沿岸部の津波には注意が必要ですが、発生までに時差があります。まず、大きな揺れから命を守るため、ものが「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所を意識することが大切です。

4月22日（月）には、全校生徒が、准教授の先生、研究室の学生の皆さんから防災の授業を受けました。学んだことを家族に伝えるようにとのメッセージもありました。



廊下に並び



引き取りのサインをして



生徒と帰る

今後の防災教育に関するスケジュール

7月13日（土）全校保護者会 大木先生からの保護者向け防災資料の配布

8月21日（水）寺尾小中合同教職員研修会

9月 2日（月）避難訓練、集団下校